

**日本語:** ANGiセンサーは、取り付け基準を満たしているサイクリングヘルメットにも使用できるようになりました。ただし、エアロテールの付いたヘルメットには使用できません。

ANGiは、通常タイプのほとんどのヘルメットに対応していますが、取り付け位置によっては、ライダーの頭に対して他のヘルメットよりも動きが大きくなるものがあり、センサーの機能に誤りが生じる可能性があります。その場合は、センサーをフィットシステムにできるだけ近づけて取り付けるか、または別のヘルメットを使用してください。

- **スペシャライズドANGi対応ヘルメット:**同梱されているユーザーマニュアルを参照してください。
- **その他すべてのサイクリングヘルメット:**ユーザーマニュアルのほか、以下のインストラクションを参照してください。

ANGiセンサーを正しく機能させるには、正しい位置に取り付けることが最も重要です。センサーは以下のように取り付けなければなりません:

- ヘルメットの後部(フォーム上ではなく)に、センターラインに対してできるだけ近く、かつ低い位置(図1)にしっかりと取り付けます。取り付けエリアは、プラスチックシェルの平らな表面です(図2)。ANGiは、緑色で示した平らなエリアに取り付けます。赤と黒で示した湾曲したエリアは避けてください。
- シェルには粘着面の75%以上が密着するようにします(図3)。
- センサーがヘルメット上で揺れたり、動いたりすることがないようにします。

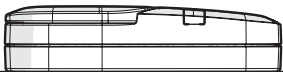
取り付けは、接着効果を最大限にするため、接着面をきれいにし、常温で行います。デカールカバーをはがし、センサーを最適な位置に取り付け、きちんと押し、そのままセンサーを60秒間しっかりと保持します。センサーを使用する前に、5分間待って安定させます(図4)。

詳しい情報については、[www.specialized.com/ANGi](http://www.specialized.com/ANGi)を参照してください。

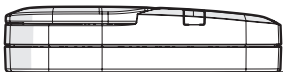
**警告!**ANGiセンサーを正しく取り付けないと、ANGiが正確に機能しない場合があります。

1





2



3



4



押す:60秒間  
待つ:5分間

